ひろば

ミニコミ紙
平成11年7月20日
第47号
発行責任者　鈴木武一
編集事務　用賀出張所
TEL. 3700-3657

多摩川の花火

玉川四丁目　池田良夫

梅雨が明けて、日ざしが強くなり水辺が恋しくなる頃、各地で海開き山開きの声が聞えて来ます。

多摩川の花火も川で水泳があたりまえであった頃の川開きの行事でした。

多摩川の流域では、六郷、丸子、二子玉川、稲田登戸、調布そして府中などで行なわれてきました。東急、小田急、京王線等、私鉄各線が地元の観光協会とタイアップして、娯楽のない戦後には、沿線の人々の待ち遠しい楽しみの一つでした。

二子玉川の花火も、※二業地であった頃は、観光協会や漁業組合の人集めとして毎年行なわれました。

近年は、川崎市制記念花火が第三京浜上流で、世田谷区のふるさとまつり花火大会が兵庫島上流で行なわれます。世田谷区の花火はラブリバーの花火が発展したものです。

※料理屋や「待合」などのある所

夏野菜はいかが!!

用賀二丁目　高橋清

雨に濡れたあじさいの頃一番に名乗りを上げるのがキュウリ、暑さに向かってトマト、ナス、枝豆など、本当は夏でなければ食せない野菜を自然な形で作っています。

馬事公苑の有機肥料で作る、とげのあるキュウリ！まっ赤でもリンゴのように硬いトマト！ホクホクのじゃがいも！皆さん、食べてみたくなりませんか。

畑での直売、農協の朝市、けやき広場の品評会、用賀の盆踊りにと私達の新鮮野菜は顔を出しています。

地元の農家の野菜で旬を味わってみてはいかが!!

夏は来ぬ

さわやかラジオ体操

上用賀三丁目　細江由喜子

さわやかな深緑の中、早朝ウォーキングで、砧公園のラジオ体操に出会った。

子育てを終え、夫婦仲よく歩き、それぞれの場所で音楽にあわせラジオ体操を楽しむ。何の力も加わっていない人間が、自然と調和した本当の美しさを感じた。

緑いっぱいの中、マイナスイオンを浴び、「おはよう!!元気!?」という何気ない会話の中で、若さや生きる活力が育っていく。初めは、気はずかしかった私達も、自然に音楽にあわせて体を動かす。

時がゆっくり流れ、大切な一日が、心地良くはじまる。

(元用小PTA会長)

納涼盆踊り縁日大会

用賀商店街振興組合　厚生部

毎年、七月下旬の二日間開催される用賀駅前盆踊り大会は、平成五年、くすの木公園を大会の会場に利用出来るまでは、会場さがしで苦労して来ましたが、以後その心配もなくなり、現在に至っています。

この公園は、立地条件も良く、安心して盆踊り縁日大会の運営が出来ます。人出の方も、年ごとに増え、期間中、一万人を超すまでになってきました。

納涼盆踊り縁日大会を、心待ちしている人々のためにも、今後も、引き続き、くすの木公園広場で、行なっていきたいと思っています。

夏休み映画会

瀬田小学校遊場開放委員会　生田目幸子　美山さとみ

夏休みに、瀬田町会主催で映画会が行なわれます。

昨年も、瀬田小学校の体育館において、三本のアニメ映画の上映がありました。子ども達は、夏休み中の催し物として恒例になった映画会を、とても楽しみにしています。上映後には、ポップコーンのおみやげを頂きました。瀬田小学校PTAの委員会のひとつである遊び場開放委員会も、一年間の活動のひとつとして、引き継ぎをし、協力を続けていきたいと思っております。これからも映画会を続けて欲しいです。

或る一年生のつぶやき

鈴木武一

サクラの花が咲いた頃
ピッカピカの一年生ッ
なんて言われて入学し
夢中で駆けた運動会
アッと言う間にナツ・マ・スミ
四十とナン日あると言う
何せ初めてナンだもの
夏の行事はみんな行こッと
故郷(ふるさと)まつりは馬事公苑
今年もあるぞウレシイな
花火あがって盆おどり
プールで水と遊んだり
田舎(いなか)の山河(さんが)ひとまわり
ヤタラに鈴ちゃん喜んで
ソオッと婆ちゃん呆れました
お小遣いだよしまっとけ
ありがと婆ちゃんアア嬉しッ
忘れちゃいけないお勉強ッ
大丈夫ッしっかり覚えたよ
秋の二学期まかしとき
笑いの学校忘れない
金チャン花チャン仲良しだ
先生おはなし又してね
覚えてみんなに嘘っちゃお
雨ふり体操できない日
机の上で…チイタカ…タ
笑いの渦をばらまくョ
其れから色々あるんだナ
アレもヤッタりこれしたり
黙ってコッソリ考へて
オイソレ出来ない事やって
みんなビックリさせてから
ナーンデそうかい相だなあ
感心したりしなくても
それで良いんだ解りゃいい
子供はウソはつかないよ
聴いた大人が褒めるだろ
誰もほめずに過ぎたッて
自分でわかる時が来る
クイズ番じゃないけれど
「是にて一件落着」と…
世の中あたって砕けろだ

ひろば　ご希望の方は出張所においてありますのでどうぞ。

回覧											

郷土紹介

多摩川

岸辺からの眺めは、年と共に大分変って来ましたが多摩川は、流石、一級河川、夏、川面を渡ってくる風は涼しさを呼びます。

多摩川は、その源を山梨県塩山市の笠取山に発し、いくつもの支流を合せ、途中、丹波川、多摩川、六郷川と名前を変えながら東京湾に注いでいます。流域全長一三八粁に及びます。

川の流れは、洪水の都度右に左に移動した様で、今でも神奈川県側に宇奈根、瀬田、下野毛、等々力と云う地名が残り、東京側にも久地とか瀬田川原と云う地名がありました。

明治四五年、多摩川の中、下流地域は、この川を東京府、神奈川県の境界線と決めました。又、多摩川は青梅地方の木材を筏で下流に運ぶ大切な役目を担っていましたが、一方、川を渡る為には渡舟場がいくつもありました。甲州街道の日野の渡し、津久井往還の登戸の渡し、矢倉沢往還（大山街道）の二子の渡し、中原街道の丸子の渡し、そして東海道の六郷の渡し等々です。

二子の渡しは東京側に二ヶ所の舟着場があったそうですが、大正十四年、二子橋が完成し、その役目を終えました。今、新二子橋も出来て、車は数分のうちに多摩川を通過してしまいます。

（飯田）

京西小学校百二十周年の記

実行委員　朝倉正敬

十一月二十日創立百二十周年記念式典を行います。

京西小学校は、明治十二年十二月十日に開校しました。創立当初、児童数六十六名、教師二名だったそうです。その後、児童数は年々増加し、昭和二十六年頃には、千七百名を超えていました。そして、京西小から、桜町小、瀬田小、用賀小が新しくできました。現在は十三学級で四百六名です。（二子玉川小は昭和十七年に分校）

「京西小学校は、用賀村と瀬田村両村の有志の方々の献身的なご努力により、両村の境に接する地に建てられました。その当時、学校を建設する基金は、すべて地元住民の負担でした。学校建設の発起人達は、用賀、瀬田両村約三百軒に呼びかけ、千円余りを得て、学校を建設しました。」（創立百周年記念誌より）

京西小学校の名称は、用賀村出身の鈴木虎之助氏の依頼で、明治の元勲伊藤博文公により京西学校と命名されました。

開校当初は、京西と書いていました。京西の京が今と違うのは、京都の京と東京の京とを区別したためと言われています。

歴史と伝統のある京西小学校を、地域の皆様がたと共に、発展させていきたいと思います。

シャルウィダンス

用賀四丁目　松本俊雄

現在は社交ダンスを週一回習っています。やっとサークルの仲間同士で初級程度を踊れるようになりました。皆さんも楽しい趣味をお持ちの事と思います。

動くことが好きで、以前、テニス、登山、渓流釣り等よく出掛けていましたが、年と共に仕事他雑用に追われるようになり、行く機会が少なくなってしまいました。少しの時間で楽しく何か出来るものはないかと思っていたところ、数年前、用賀中の体育館建て替えと共に、地域にも開放と言うことで、世田谷ダンス協会主催による「初心者ダンス教室」開催。「おっ！これが良いわ」年取ってからも出来るし、女性の前に出るには良ぐらいは習るだろうし、少しはピッとしていられるかな？でも一寸恥ずかしいなと思いながら、一年間何とか通いました。しかしながら全然、モノにならない。少し馬鹿にしていました。一年間無駄にしてなるものか……。

ダンスは「男性三年、女性一年」でやっと踊れるようになると聞いていましたが、最近やっとその域に達してきたかなと思っています。

毎週楽しくレッスンに通っています。三種目ぐらいは一年も習えば十分に踊れるようになれます。皆さんも如何でしょうか。

趣味の広場

スポット

祝　学校創立周年

京西小学校　百二十周年

用賀中学校　四十周年

今年の夏の行事

①盆踊り

用賀駅前くすのき公園

7月21日(水)　22日(木)

玉川三丁目高架下

7月23日(金)　24日(土)

瀬田小学校

7月31日(土)8月1日(日)

用賀小学校

8月27日(金)　28日(土)

②子ども映画会

上用賀アートホール

7月21日(水)

瀬田小学校

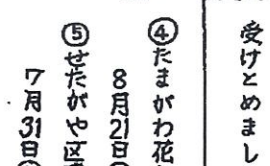
8月7日(土)

用賀区民集会所

8月25日(水)

③用賀納涼の夕べ

8月18日(水)



あとがき

・夏は来ぬ〃どこかで聞いたことがある。

・あっありました。昔の唱歌「うの花の匂う垣根に…」遠層すぎた人なら思い出すでしょうね。

ひろば も年を重ねて早や十六年。

・京西小は開校百二十年

・用賀中は四十年

うっとうしい梅雨空もあっと云う間に駆けぬけて。

さあ夏です。思う存分、太陽の恩みを家族と一緒に受けとめましょう！（柳田）

④たまがわ花火大会

8月21日(土)

⑤せたがや区民まつり

7月31日(土)8月1日(日)

筆耕・カット　折原

・・用賀ホームページ開設　・・ミニコミ紙 ひろば の項目もありますので見て下さい。

http://www.youga.net